

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

●田原市の電力ピークカット・節電の取り組み

今年も、夏季（6月～9月）の電力需要対策のため、平日の昼間時間帯（午後1時～4時）における電力使用量のピークカットを推進し、消費電力総量についても節電対策に取り組みます。

今回は、公共施設での主な取り組みをご紹介します。



●ピークカットの取り組み

●昼休みの時間変更（7月～9月）
市役所、渥美支所、赤羽根市民センターの昼休みについて、正午～午後1時を午後1時～2時とする。



●会議時間の変更など（6月～9月）
市役所での会議開催は午前中とし、時間は原則1時間とする。

●そのほかの節電の取り組み

●ノー残業デーの徹底、ノーエアコンデーの実施（6月～9月）
毎週水曜日と金曜日をノー残業デーとする。また、予想最高気温が28℃を下回る場合などは、庁内エアコンを稼働しない。

●緑のカーテン事業（6月～9月）
市内53の公共施設で、ゴーヤやアサガオの緑のカーテンを設置する。

●節電プログラム「エコでニコニコ大作戦」（4月～平成25年1月）
市内の小中学校で、児童・生徒や教職員が協力して節電を行い、削減できた電気料の全額をその学校に事務用品などで還元する。

●ご家庭でも電力のピークカットや節電にご協力をお願いします。

●「たはらエコチャレンジ」登録者数
個人1786人、事業所80か所（5月末現在）

▼エコエネ推進課

☎ 23局 7401 FAX 23局 0180

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん②



大量のごみを燃やすとCO₂や有害物質が発生し、地球環境に悪い影響を及ぼします。今回は、家庭ごみの減量と、ごみを増やさないためのポイントをご紹介します。



●リサイクルショップやフリーマーケットを活用

使わなくなったものを売り、必要なものを安く手に入れることができます。ごみを減らし、リサイクルできるだけでなく、お財布にも優しいというメリットがあります。

●ごみを出さない買い物を実践

マイバッグで買い物をして、シャンプーや洗剤などは詰め替え可能な商品を選びましょう。



●まとめ買いは要注意

必要以上に買わないようにしましょう。使用期限や賞味期限が切れて捨ててしまうのは、ごみを増やすだけでなく、大変もったいないことです。

●生ごみを捨てる前に水切りを徹底

もやせるごみの約3割は生ごみで、その70～80%が水分といわれています。しっかりと水切りをし、ごみを減量しましょう。



●エコクッキングを実践

野菜くずをスープや付け合わせに活用するなど、食材を無駄なく使うように心がけましょう。また、食べられる量を盛り付けて、食べ残しをなくすることも大切です。



生活に密着した家庭ごみの減量のため、各家庭でできることから始めてみましょう。

▼清掃管理課

☎ 23局 3538 FAX 23局 0180

